

ベトナムの加工食品と 12 月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024 年 12 月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、ベトナムの代表的な食品加工セクターについての紹介です。また、今月（12 月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. ベトナムの冷凍食品、レトルト食品、プレミックス

ベトナム商工省によると、ベトナムの食品加工業の生産額は加工・製造業グループの売上高の 19.1%を占めています。ベトナムの 1 億人近い消費者と大きな輸出ポテンシャルを持つ加工食品業界は、国内外の企業にとって有望な市場であると考えられています。今回は、今後の成長が期待される 3 の代表的な加工食品セクターを紹介します。

冷凍食品

冷凍食品産業（冷凍肉、冷凍水産などの主要製品を含む）は、主に冷凍製品に対する消費者の意識の変化と現在のコールドチェーンシステム（冷蔵倉庫、冷蔵輸送）の発展により、近年ベトナムで著しい成長を遂げています。



スーパーで販売する冷凍食品

出所: [Thanhphohaiphong](#)

ベトナムの大手コールド・チェーン企業の一つである ABA Cooltrans によると、ベトナムの冷凍食品市場の売上高は年率 20～40%で成長しています。ベトナム産の冷凍食品、特に冷凍水産は世界中、とりわけアメリカ、EU、中国、日本に輸出されています。ベトナムの冷凍食品業界には、主に 2 つの成長要因があります。

一つは消費者の意識の変化によるもので、20～30 年前、ベトナムの消費者は伝統的な生鮮食品（例：新鮮な肉、新鮮な魚）は新鮮な食料品という認識でした。しかし、ライフスタイルが多忙化している今日、消費者は冷凍食品のような長期保存が可能で、簡単に調理できる食品を好むようになっていきます。

もう一つは、コールド・チェーン・システムや近代的小売販売チャネル、EC の発展が、冷凍食品の消費動向にも影響を与えている点です。以前は、冷凍食品は保存状態が悪く、商品の品質に影響を与えるため、消費者はしばしばその品質に懸念を抱いていました。しかし、現在では、冷凍技術への投資が増加し、コールド・チェーン・システムの規模が拡大したことで、冷凍食品の保存状態が向上し、消費者の手元に届くまで品質が保証されるようになりました。

レトルト食品

レトルト食品（缶詰・包装食品）は、5～10 分の調理・加熱してすぐに食べられるという利便性の高さから、人々の食生活に浸透しつつあります。人気商品としては 餃子、春巻き、ポテトフライなどがあります。2019 年から現在まで、ベトナムのレトルト食品市場は急速に成長しており、生産量は年間当たり約 500 トンです。

現代の生活では、レトルト食品を食べることは、都市部だけでなく農村部でも習慣となっています。消費者の高い需要を背景に、レトルト食品市場はメーカーだけでなく流通企業にとっても魅力的な市場となっています。食料品店やスーパーでは、顧客のニーズに応えるため、生鮮品や冷凍品に加え、レトルト食品が陳列商品として占める割合がますます高くなっています。



Cau Tre ブランドのレトルト食品

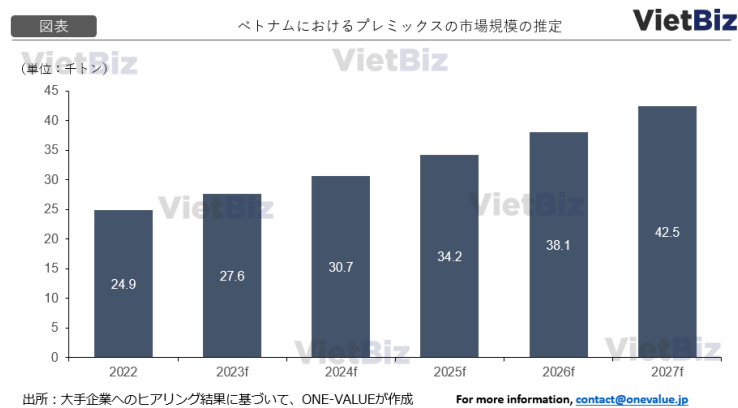
出所: [Bachhoaxanh](#)

プレミックス

2023 年のベトナムのプレミックス市場規模は約 24,900 トン、売上高の平均年間成長は 11.3% です。プレミックスを最も多く使用しているのは水産加工輸出です。

ベトナムの人口は約 9,940 万人（2024 年 5 月現在）で、2040 年には日本の人口を上回ると予想されています。家計所得は 2019 年から 2024 年にかけて 40% 増加すると予想されています。ベトナムの富裕層の人口増加率は 1 年あたり 11.4% です。所得や世帯数の増加、生活の質の向上は、プレミックスを含む食品産業の発展の要因でになります。

加えて、加工食品の生産量の伸びもプレミックス製品の成長ドライバーの1つです。特に、食肉加工品（フライドチキン等）や水産加工品（天ぷら等）分野で、プレミックスを使用した加工食品の生産高が増加しています。



Ⅲ.【12月注目ニュース】

内務大臣のファム・ティ・タイン・チャン氏は、中央指導委員会の方針の下、議決 18-NQ/TW に沿って、中央省庁および関連機関を統廃合することを発表しました。これらの数は現在の 30 から 21 に簡素化され（9 削減）、2026-2031 年に 13 の省庁および省庁に相当する 4 つの機関、4 つの政府機関に改編されることになります。

一部の省庁および省庁に相当する機関の統合

政府は以下のように省庁および省庁に相当する機関を統廃合し、改編を行います。

- 計画投資省と財政省の統合：統合後の名称は「財政・投資開発省」または「経済開発省」を予定。
- 交通運輸省と建設省の統合：統合後の名称は「インフラ・都市省」を予定。
- 資源環境省と農業農村開発省の統合：統合後の名称は「農業・資源環境省」を予定。この 2 つの省を統合することで、水資源、流域管理、生物多様性に関する管理業務の重複を解消する。
- 情報通信省と科学技術省を統合：統合後の名称は「デジタル変革・科学技術省」または「デジタル変革、科学技術及び情報省」を予定。
- 労働傷病兵社会省と内務省を統合：統合後の名称は「内務・労働省」を予定。

職業教育に関する国家管理機能は教育訓練省に移管され、社会保障、子供、社会問題の防止に関する国家管理機能は保健省に移管されます。保健省は、中央健康保護委員会の一部の業務を引き継ぎ、労働傷病兵社会省から移管された社会保障、子供、社会問題の防止に関する国家管理機能も引き継ぐ予定です。外務省は、中央外交委員会と国会外交委員会の主な業務を引き継ぎます。国防省は、政治局の決定に従って内部組織の改編を行います。ホ

ーチン主席の靈廟管理委員会は国防省に直接移管され、この省の組織構造に組み込まれます。

また、「残りの省と機関は、現在の状況に応じて内部組織を改編し、簡素化する」とチャー内務大臣は述べています。内務省については、国家行政学院をホーチミン国家政治学院に統合する方向で改編案を作成することを明らかにしました。また、労働傷病兵社会省と協力して、教育訓練省と保健省にいくつかの機能を移管した後に、労働傷病兵社会省と内務省の統合案を作成します。

内部組織の簡素化

政府はまた、政府機関およびその他の機関についても改編案を提出し、その中には国営企業資本管理委員会および国家財政監視委員会の活動終了が含まれています。また、2つの社会科学アカデミーおよび科学技術アカデミー、ハノイ国立大学およびホーチミン市国立大学なども改編の対象となります。「組織を整理し、管理機能や任務を調整すれば、現在抱えている重複問題が基本的に解消される」とチャー内務大臣は強調します。この案が実施されれば、中央省庁およびそれに関連する機関の内部組織は最低でも15%から20%削減される見込みです。

チャー内務大臣は、政府機関の組織簡素化を進めることで、政府が持つ権限や機能を最大限に発揮し、憲法に基づく行政権を実行するための体制を整えるとしています。この改革では、多様な分野の業務を司る省庁を合理的に改変し、一つの機関が多くの業務を担当し、一業務は一つの機関が主導して責任を持つという原則が採用されます。また、省庁内部の組織も簡素化され、重複した組織・業務は基本的には廃止されます。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地>14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP: <https://onevalue.jp/>